

新総合計画の具体的推進について

1 だれもが安全・安心に暮らせるまちづくり

(心がよいいふれあうまち・健やかで安心して暮らせるまち・安全で人にやさしいまち)

(単位：千円)

項 目	平成18年度の新規・拡充施策等	予 算 額	施 策 の 内 容	区 分
男女共同参画	女性交流支援ルーム設置費	12,300	男女共同参画社会の実現をめざす「新かがやきプラン」の後期計画スタートの年にあたり、課題となっている女性の相談室の充実と情報提供体制の整備に対応するため、平和堂アルプラザ京田辺店内に「(仮称)女性交流支援ルーム」を設置するもの。	新規
市民活動	地学連携推進事業費	2,000	京田辺市と同志社大学等との連携協力に関する協定(包括協定)に基づく、市民と学生、市と大学等との連携・交流事業をさらに推進するため、「地学連携推進事業補助金」を新設するなど新総合計画に掲げる「大学を積極的に生かした魅力あるまちづくり」を進めていくもの。	拡充
健康づくり	いきいき(子育て期)健診事業費	4,982	近年、生活習慣病の発症が若年化する傾向にある中、公的健診の受診機会が少ない子育て期にある女性等への健康支援策として、30歳と35歳の節目にある女性に対する健康診断を実施することにより、本人及びその家族の健康増進を図るもの。	新規
障害者福祉	障害者生活支援センター運営費	11,700	障害者自立支援法に位置づけられた地域生活支援事業の基本事業である相談支援体制の充実強化を図るため、在宅の障害者の地域生活を支援する中心的施設として、近鉄新田辺駅前(ビットダイエイビル内)において「京田辺市障害者生活支援センター」を開設するもの。	新規
児童福祉	河原保育所建て替え事業	68,700	老朽化の進む河原保育所の建て替え事業。平成18・19年度の2か年事業で継続費の総額は7億3000万円。鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積は約2100㎡、定員は180人(現施設は150人)で、新たに地域子育て支援センターを併設するもの。	継続

2 快適で活力にみちたまちづくり

(調和のとれた便利なまち・快適で住みよいまち・活力とにぎわいのあるまち)

(単位：千円)

項 目	平成18年度の新規・拡充施策等	予 算 額	施 策 の 内 容	区 分
環境美化	京田辺市環境基本計画推進費	2,000	本市の望ましい環境像「市民の環(わ)で環境を守り育てるまち京田辺」の実現に向け、市環境基本計画を推進するために市民・学生・事業者・市などが連携・協働する組織として設立された「きょうたなべ環境市民パートナーシップ会議」の取り組みを市が積極的に推進するもの。	拡 充
新産業創出	起業家育成入居施設費補助金	4,000	平成18年夏に同志社大学京田辺キャンパス内に独立行政法人中小企業基盤整備機構による起業家育成施設(D-egg)が完成するにあたり、新産業創出による市の産業振興を目的に、同施設に入居する市内の中小企業者等の負担軽減を図るため、入居費の一部を市が助成するもの。	新 規
市街地整備	三山木地区特定土地区画整理事業	2,048,000	関西文化学術研究都市の北の玄関口にふさわしい市街地形成に向け、三山木地区の特定土地区画整理事業を進めている中、本年度は、平成19年春の供用開始をめざして駅前広場の整備を行うとともに、区画内街路の築造等を本格的に実施するもの。	継 続

3 心にうるおいのあふれるまちづくり

(自然と共生する美しいまち・心豊かな人を育てるまち)

(単位：千円)

項 目	平成18年度の新規・拡充施策等	予 算 額	施 策 の 内 容	区 分
学 校 教 育	田辺中学校施設整備基本計画作成費	1,800	現在進めている耐震補強優先度調査の結果や開発に伴う生徒数の増加等により、今後、施設の整備が必要となる田辺中学校において、京都府農業総合研究所(花き部)跡地の一部を学校施設用地として確保することを含めて、校舎の配置計画等、施設整備の基本計画を作成するもの。	新 規
ス ポ ー ツ	田辺公園プール土曜夜間開館	2,400	現在、週4日間(月・火・木・金)、夜間(17時30分～21時30分)を開館している田辺公園プールにおいて、新たに土曜日夜間を開館することにより、市民の利用可能な時間を拡大し、スポーツ活動の日常化と市民の健康増進を図るもの。	拡 充
公 園 緑 地	(仮称)防賀川公園整備事業	56,000	平成19年度末の一部暫定供用をめざし整備を進めている(仮称)防賀川公園整備事業について、「ふるさとの川・防賀川」を活かした親水性のある多様な空間を創出し、地域住民のスポーツ及び休息・散策の場となる施設の整備を実施するもの。	継 続

緊急・重点事業への積極配分

1 震災対策

項 目	平成18年度の新規・拡充施策等	予 算 額	施 策 の 内 容	区 分
住 環 境	木造耐震診断士派遣事業	2,800	市民の住宅耐震対策を支援するため、昭和56年以前に建築された木造住宅を対象に、市民が京都府木造住宅耐震診断士の派遣を依頼した場合において必要となる経費の一部を市が負担するもの。(派遣に要する費用3万円のうち2万8千円を市が負担、申請者が2千円を負担。)	新 規
防 災	田辺東小学校耐震補強事業等設計費	5,100	これまでに実施してきた小・中学校の耐震補強優先度調査等の結果をふまえ、今後計画的に学校施設の改修を実施していくにあたり、本年度は、田辺東小学校北校舎の耐震補強及び大規模改造(教室・トイレ等の改修)事業の実施設計を行うもの。	新 規

2 アスベスト対策

項 目	平成18年度の新規・拡充施策等	予 算 額	施 策 の 内 容	区 分
住 環 境	アスベスト検査料補助金	1,000	市民が建材等に含まれるアスベストに対する不安をつのらせている中、市民が所有する建築物や工作物に含まれる飛散製アスベストの検査に係る経費の一部を市が助成するもの。(検査に要する経費の1/2、限度額は一件あたり2万円。)	新 規

3 子育て支援

項 目	平成18年度の新規・拡充施策等	予 算 額	施 策 の 内 容	区 分
健 康 づ く り	いきいき(子育て期)健診事業費 【再掲】	4,982	近年、生活習慣病の発症が若年化する傾向にある中、公的健診の受診機会が少ない子育て期にある女性等への健康支援策として、30歳と35歳の節目にある女性に対する健康診断を実施することにより、本人及びその家族の健康増進を図るもの。	新 規
児 童 福 祉	河原保育所建て替え事業 【再掲】	68,700	老朽化の進む河原保育所の建て替え事業。平成18・19年度の2か年事業で継続費の総額は7億3000万円。鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積は約2100㎡、定員は180人(現施設は150人)で、新たに地域子育て支援センターを併設するもの。	継 続

4 その他「安心・安全」対策

項 目	平成18年度の新規・拡充施策等	予 算 額	施 策 の 内 容	区 分
交 通 安 全	あんしん歩行エリア実施計画作成費	2,300	交通事故の抑止対策として、JR京田辺駅・近鉄新田辺駅周辺を「あんしん歩行エリア」に指定し、平成17年度に策定した基本計画をもとに、地域住民と行政からなる事故対策委員会が中心となって、安全で安心して通行できる空間づくりのための整備計画を作成するもの。	拡 充
防 犯 対 策	保護者向け情報配信サービス事業	3,600	学校・地域ぐるみで子どもの安全をまもるため、学校等から保護者への新しい緊急連絡体制として、固定電話、携帯電話、ファクス、電子メールのいずれかの手段により、学校等からの不審者情報や災害情報等をNTTを通して一斉に保護者に伝達するサービスを開始するもの。	新 規
青 少 年 育 成	子どもの居場所づくり開設費補助	500	地域における子どもたちの安全をまもり、世代間の交流と青少年の健全育成を図るため、地区公民館を子どもたちが気軽に安心して立ち寄ることができる場所として積極的に活用するために必要となる経費の一部を市が助成するもの。	新 規